静岡大学農学部（応用生命科学（植物）分野）
テニュアトラック教員の公募について

公募の概要

静岡大学では、若手の教員に対しテニュア獲得のインセンティブを与えることにより、当該教員の教育研究に対する意欲を高めるとともに、その能力及び資質の向上を図り、もって教育研究の高度化及び活性化を期することを目的としてテニュアトラック制度を導入している。

テニュアトラック教員の任期は5年間であるが、研究業績等が優秀であると認められた場合は、本学のテニュアポストへの早期の昇任が可能となる。テニュアトラック教員は、研究業務を主務とするが、将来テニュア教員として本学における学生の教育を担うためのトレーニングも行う。

静岡大学は、外国人教員（日本国籍以外の国籍を有する者）を採用し、教育研究両面での国際化の進展を図っている。また、静岡大学は、男女共同参画を推進し、雇用の機会均等を推進している。

1 募集分野及び人数

応用生命科学に関連する研究分野、特に植物分野において優れた研究業績をもち、博士の学位を有すること。静岡大学における全学教育科目（理系基礎科目）や農学部専門科目における化学系科目（生物有機化学、化学概論等）等をはじめとする学部及び大学院の講義を担当し、応用生命科学実験や卒業研究等の学生の教育に熱意をもって取り組むことのできる若手研究者を募集する。

テニュアトラック教員（助教）： 1名

2 採用予定日

2026年4月1日又はそれ以降のできるだけ早い時期

3 雇用・給与・研究支援等条件

(1) 任期

採用日から5年間（テニュアへの移行については下記（2）を参照のこと。）

(2) テニュアトラック教員の評価

テニュアトラック教員から提出された研究計画書、中間時研究成果報告書、終了時研究成果報告書の書類審査及び面接等により、研究業績、リーダーシップ・マネジメント能力、外部資金獲得実績、学部生・大学院生への研究教育指導能力等について、次の時期に評価を実施する。

- ① 雇用後1年、2年及び4年を経過する月に研究計画の達成状況の審査を行う。
- ② 雇用後2年6か月を経過する日の翌月に中間評価を行う。
- ③ 雇用後4年6か月を超えない月にテニュア審査を行い、審査に合格した助教はテニュア講師又は准教授に採用する。なお、ここでのテニュアは、終身ではなく定年（現行は65歳）がある。

(3) 給与：年俸制

- ① 扶養手当、管理職等手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、時間外労働手当、深夜労働手当は、静岡大学教職員給与規程を準用して支給する。
- ② 赴任旅費は、別途規定に基づく額を支給する。

(4) 研究支援

- ① 1年目に、1人当たり350万円のスタートアップ資金と独立した研究スペースを措置する。また、2年目は140万円、3、4、5年目は各70万円の研究資金を措置する。(金額は2024年度実績)
- ② メンター・アドバイザーが研究に関する支援・指導を行う。
- ③ 今後の予算の状況により研究費は変更される場合がある。

(5) 仕事内容

- ① 応用生命科学分野の研究を行うほか、演習・実験科目・講義の担当及び研究指導補助を行う。
- ② 任期期間中の研究活動に関するエフォートは、原則として70%である。

(6) 勤務場所

勤務地は、静岡キャンパス(静岡市駿河区大谷)とする。

4 応募条件

- ① 現在、応用生命科学分野の博士の学位を有する(学位取得後10年未満)か、2026年3月末までに博士の学位取得が確実であること(学位取得後10年以上であっても、産前休暇、産後休暇又は育児休業の取得による研究中断期間を除くと10年未満である場合は明記すること。)
- ② 応用生命科学分野において優秀な研究を行っている方
- ③ 応用生命科学分野の研究を推進する意欲のある方
- ④ 静岡大学における全学教育科目(理系基礎科目)や農学部専門科目における化学系科目(生物有機化学、化学概論等)等をはじめとする学部及び大学院の講義、応用生命科学実験、卒業研究等を意欲的に担当できる方

5 応募書類

- (1) 指定の応募申請書(履歴、写真添付、論文等の業績と外部資金獲得リスト、各論文について掲載雑誌のインパクトファクターと被引用数)・・・FORM1(word、pdf)
- (2) これまでの研究の概要(A4サイズ2頁以内)・・・FORM2(word、pdf)
- (3) 今後5年間の研究計画(A4サイズ2頁以内)・・・FORM3(word、pdf)
- (4) 教育に対する抱負(A4サイズ1頁以内)・・・FORM4(word、pdf)
- (5) 主要論文5編以内(別刷り又はコピー。順位を付ける。)
- (6) 応募者の教育・研究についての問合せのできる2名の氏名・連絡先

(注1) 上記のFORM1, 2, 3, 4は、日本語又は英語で記述すること。

(注2) 必要事項の記載されたFORM1, 2, 3, 4及び主要論文をPDFファイルとし、1つの圧縮ファイルとしてまとめた後、下記の宛先に、E-mailを用いて提出すること。なおその際、ファイルにはパスワードをかけ、別途E-mailでパスワードを通知すること。また、応募書類は返却しない。

(注3) これまでに、ハラスメント等(※)及びその他の理由により懲戒処分等を受けた場合は、指定の応募申請書(FORM1)の「15.Punishments」欄に処分内容及びその具体的な事由を記入すること。なお、採用後に経歴詐称が判明した場合は、懲戒解雇等の対象となるため、提出の際は留意すること。

※ ハラスメント等：「セクシャル・ハラスメント、性暴力等」、「アカデミック・ハラスメント」、「パワー・ハラスメント」等

(注4) 産前休暇、産後休暇又は育児休業の取得による研究中断期間に対して考慮を希望する場合は、その旨を記載すること。

6 応募締切

2025年9月19日(金) 17時必着(日本時間)

7 選考方法

書類審査 2025年10月中旬予定

面接審査 2025年11月予定(書類審査の合格者のみ対象とし、旅費は支給しない。)

なお、海外在住者につきましては、ウェブ面接となる場合がある。

静岡大学は、静岡大学男女共同参画憲章の基本方針に基づき男女共同参画や女性教員の採用を推進しており、評価が同等の場合は、女性の候補者を優先する選考を行う。また、国際化の推進を図るため、評価が同等の場合は、外国籍の方又は外国で学位を取得した方を優先する選考を行う。研究業績の審査において、産前休暇、産後休暇又は育児休業の取得による研究中断期間がある場合は、応募者の申出により考慮する。

8 男女共同参画

静岡大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。本学では、子育てや介護に関して様々な支援制度を設けております。詳細は、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進室ウェブサイト

(<https://www.dei.shizuoka.ac.jp/>) をご覧いただくか、同推進室

(takenoko@adb.shizuoka.ac.jp) までお問い合わせください。

9 応募に関する問合せ先

静岡大学農学部 大西 利幸

E-mail: ohnishi.toshiyuki@shizuoka.ac.jp

10 応募書類の提出先

静岡大学農学部総務係

E-mail: agr-somu@suml.cii.shizuoka.ac.jp

※ 10MB以上のファイルを送付する際は、10MB未満のサイズに分割するか、オンラインストレージ等をご使用願います。